

平成30年 第3回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日未明、北海道南部を地震地とする地震が発生し、広範囲にわたる被害が確認されております。未だ余震が続いておりますが、被害が最小限となるよう願っております。

本日ここに、「平成30年第3回市議会定例会」の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

このたび、本市職員による個人情報漏えいにより、関係者の方々並びに市民の皆様に、多大なるご迷惑とご心配をおかけし、心からお詫び申し上げます。

今後は、市民の皆様からの信頼の回復に向け、個人情報の取り扱いに関する職員応対マニュアルの作成など、職員一丸となり再発防止に努めてまいります。

7月の岡山県・広島県を中心とした西日本豪雨において、甚大な被害が多数発生したところであり、被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

過日、本市においても、市内一斉の総合防災訓練を実施いたしましたが、今般の西日本豪雨では、特に高齢者の被災が目立ったことから、災害時に要配慮者を搬送するための、地区の介助者による福祉避難所への搬送訓練や学校施設を指定避難所とする特定地区総合防災訓練にも意を注いだところでもあります。引き続き、地域住民による共助の力もお借りしながら、市民生活の安全確保に努めてまいります。

なお、今月18日には、我が国における防災体制の強化に貢献することを目的に開催される「地域防災を担う人づくり国際シンポジウム」に、全国の市区町村を代表してパネリストとして参加することとなりました。

これまで本市が取り組んできた「地域減災リーダー育成事業」が高く評価されたところであり、誇りに思うと同時に、あらためて、NPO法人減災ネットやまなしをはじめとする関係機関並びに市民の皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

先月8日に第2回葦崎市女性議会を開催いたしました。

女性団体連絡協議会をはじめとする各種団体に加え、市内在住の大学生の参加を得て、女性ならではの視点から「子育て」、「教育」、「観光」など様々な分野にわたるご提案をいただきましたので、今後活力あるまちづくりに反映させてまいります。

さて、今議会は、私にとりまして任期最後の定例市議会であります。

先の6月議会定例会において、次期市長選へ向けての決意表明をさせていただきましたが、常に将来を見据えた健全な行財政運営を推進し、すべての市民がそれぞれのステージにおいて夢や希望を持つことができる「市民が主役の持続可能なまち荏崎」を次代へと引き継ぐため、引き続き人口減少対策や防災・減災対策といった重要施策をはじめ、さまざまな行政課題に迅速かつ積極的に挑戦し、自信と誇りを持った「チーム荏崎」による活力あるまちづくりに全力を傾注してまいります。

次に、本年度の主な事業の動向について申し上げます。

まず、子育て環境の整備についてであります。

再編保育園第2園及び藤井公民館の整備につきましては、無事工事を終え、今月28日に竣工式を迎える運びとなりました。10月1日より保育が始まる当該施設は、本市では初めての地区公民館との複合施設であり、「ふれあい緑側」を通じて両施設を往来できる工夫を施しております。今後も園児と地域住民との交流などに取り組み、特色を活かした施設となることを大いに期待するものであります。

次に、学校教育の充実についてであります。

荏崎北西小学校のエアコンの更新工事につきましては、夏季休暇期間中に工事を終え、2学期より児童が快適な環境で学習できるよう整備いたしました。

また、甘利小学校の大規模改修事業につきましては、これまで順次改修を済ませ、利用を開始してまいりましたが、今月末までには残されていた特別教室の改修や外構整備など、全ての工事を終える予定であります。

改修を終えた新たな環境の中で、児童がさらに自主性と創造性を高め、確かな学力を身に付け、健やかな体と豊かな心を持つ人となるよう、大きく成長してくれることを願うものであります。

次に、公共交通の充実についてであります。

10月より、竜岡町の真葛、越道、みだいスカイタウン地区への市民バスの運行を開始いたします。小回りの利くワゴンタイプの車両を導入し、公共交通の利便性向上に努めてまいりますので、多くの方々にご利用いただきたいと思います。

また、穂坂線につきましても、葦崎東中学校の生徒が下校時に利用しやすいよう同じく10月より増便するなど、引き続き公共交通の充実に努めてまいります。

次に道路等の整備についてであります。

主要地方道葦崎昇仙峡線拡幅工事につきましては、県において東ヶ丘病院入り口の歩道と車道の施工及び舗装工事を進めており、加えて、葦崎インターチェンジ付近に中央道を跨ぐ歩道橋を設置すべく、ネクスコ中日本との間で事前協議を進めていると伺っております。

また、国道141号線相袋交差点改良工事につきましては、右折レーンの延長などの工事を全て終え、安全な通行や渋滞の緩和が図られたところであります。

次に、魅力ある観光施策の充実についてであります。

7月21日・22日の両日、過去最高となる443名のサイクリストをお迎えし『戦国ヒルクライム・葦崎甘利山』を開催いたしました。

地元旭地区を中心とした市民による沿道での声援や各種団体等によるおもてなしをいただくなか、成功裡に終えることができました。

また、『つなぐ』をテーマに開催した恒例の「夏の武田の里まつり」は、昼過ぎから断続的に降り続いた雨も花火大会直前にはすっかり上がり、昨年度同様、多くの皆様のご来場をいただくなか、盛大に開催することができました。

このたびの祭典に際し、多大なご協力を賜りました協賛企業各社をはじめ、商工会や各種団体、関係各位に対し、あらためて御礼申し上げます。

次に、スポーツ活動の充実についてであります。

来週9日に「武田の里ウォーク 穂坂ぶどう郷コース」を開催します。

今回は新たに20kmコースを新設するほか、地元ミュージシャンのパフォーマンスや、物販・飲食ブースが出店される「KIZUNA フェスティバル」との同時開催により、武田の里ウォークの認知度の向上とにらさきの魅力を発信してまいります。

次に、地域文化の創造・継承事業についてであります。

今月24日まで、「ふるさと偉人資料館」において、新府城の実像を探る特別企画展「新御館新府城」を開催しております。

真田昌幸による新府城築城に関わる書状や、七里岩台地など城周辺の地形を捉えられる「新府城絵図」など資料60点余りの展示を行い、史跡新府城跡を広く周知してまいります。

次に文化・芸術の振興についてであります。

今月8日から12月2日まで、葦崎大村美術館において「百寿記念 - 堀文子展」を開催します。身近な動植物や四季の移ろいなどを描いた作品で知られ、今年100歳を迎えた日本画家 堀文子の制作を支えてきた精神や生き方にも触れていただく機会となれば幸いです。

次に、第7次総合計画の策定についてであります。

7月14日に、東京エレクトロン葦崎文化ホールにおいて「一緒に考えよう 住みたいまち、住み続けたいまち」をテーマに、まちづくりシンポジウムを開催いたしました。

現在、庁内において、基本構想に掲げる「すべての人が輝き 幸せを創造するふるさと にらさき」を目指し、それぞれの分野の政策を実現するための基本計画を策定しておりますので、チーム葦崎をはじめ、市民の皆様からいただきました貴重なご意見を反映できるよう検討してまいります。

次に、地方創生事業についてであります。

今月8日と9日の両日、東京交通会館で「オール山梨移住相談会」と東京国際フォーラムで国内最大級の移住フェアが開催されます。

本市におきましても、移住相談ブースを設置し、地方の暮らしやUIターンを希望される方々へのPRなどを行い、積極的に本市への移住支援に努めてまいります。

また、今月から千代田区内のオフィス街にある全国各地のアンテナショップの「ちよだいちば」や「有楽町マルシェ」などに参加し「ふるさと納税」の返礼品を中心とした特産品の試食販売を行い、本市へのふるさと納税の更なる促進を図ってまいります。

次に、今議会で認定をいただき、平成29年度決算についてであります。

す。

一般会計につきましては、歳入総額は、149億9,867万円、前年度に比べ6%の増、歳出総額は、145億4,628万7千円、前年度に比べ、7.2%の増となっております。

歳計剰余金は、4億5,238万3千円で、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、3億4,817万1千円であります。

また、実質単年度収支は、2億229万1千円の黒字であり、前年度に引き続き改善したところであります。

なお、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」につきましては、88.5%と、法人市民税等の経常一般財源の増により、前年度より1.1%改善しております。

次に、「健全化判断比率」につきましては、「実質公債費比率」が0.1%減の9.9%、「将来負担比率」は7.8%減の79.4%となり、いずれの指標も早期健全化基準を大きく下回る結果となっております。

また、特別会計につきましては、実質収支の総額が2億511万5千円となり、水道事業会計におきましても、純利益を出すなど、堅実な財政運営を行うことができたところであります。

なお、病院事業会計につきましては、純損失が1億4,389万5千円となったところでありますが、前年度に比べ、医業収益は増加し、医業費用は減少しており、経営は改善しつつあると考えております。

議員各位のご協力と市民の皆様のご理解に支えられ、平成29年度も健全財政を維持できたところでありますが、市債の残高も年々増加していることを踏まえ、なお一層、効率的な予算執行に取り組み、将来を見据えた計画的な財政運営に努めてまいり所存であります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の6月議会以降の新たな行政需要に対応するため、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので、対処いたしましたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

報告案件	5 件、
予算案件	6 件、
条例案件	3 件、
認定案件	16 件であります。

このうち、一般会計補正予算案について、その概要を申し上げます。今回の補正は、前年度繰越金や地方交付税等の確定に基づく歳入予算

を計上したほか、定期人事異動に伴う職員給与費の補正、並びに緊急性を生じた諸事業を中心に編成したところであります。

まず、議会費につきましては、職員給与費514万6千円を減額補正しております。

次に、総務費であります。

平成29年度決算における実質収支の2分の1相当額を積み立てるため、財政調整基金積立金に1億7,408万6千円、地区からの要望により、新たにLED防犯灯を設置する経費として、安全・安心なまちづくり事業費に49万6千円追加計上するなど、総額2億2,435万9千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

平成29年度の児童手当交付金等の精算により、国庫支出金等返還金に129万9千円を追加計上するなど、総額63万円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

簡易水道特別会計の公営企業会計化に向けた簡易水道組合の固定資産を調査する経費の財源として、簡易水道特別会計繰出金に529万2千円を追加計上し、職員給与費等の減額とあわせ、総額1,423万7千円を減額補正しております。

次に労働費につきましては、勤労青年センターの施設修繕経費として、15万1千円を増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

新規就農者への農業用機具導入の助成経費として、農業団体育成事業費に99万8千円を追加計上し、職員給与費の減額とあわせ、総額544万2千円を減額補正しております。

次に、商工費につきましては、甘利山グリーンロッジの施設管理用消耗品等の増により、グリーンロッジ管理運営費に35万2千円を追加計上し、職員給与費の減額とあわせ、1,434万9千円を減額補正しております。

次に、土木費であります。

土地開発公社が整備しました上ノ山・穂坂地区工業団地周囲の市道の買戻し経費として、市単独道路整備事業費に2億6,166万5千円、3月の大雨による河川増水のため、工事が中断となった堀切橋の橋梁下部工事の追加工事経費等として、堀切橋拡幅整備事業費に3,631万1千円を追加計上するなど、総額3億1,009万8千円を増額補正しております。

次に、消防費につきましては、防火水槽等の撤去費用として、消防施設維持管理費に134万4千円を追加計上する一方、防災行政無線同報系システムデジタル化整備工事の事業費確定により、防災行政無線デジタル化推進事業費を3億32万9千円減額し、総額2億9,898万5千円を減額補正しております。

次に、教育費であります。

教職員、児童、生徒の防災意識の向上を図るモデル事業として、実践的防災教育推進事業費に102万1千円、文化ホールの西側外壁及びスロープの改修経費として、文化ホール管理運営費に1,331万円を追加計上するなど、総額2,873万1千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、2億2,581万円の増額補正となり、現計予算額は139億2,672万8千円となります。

次に、特別会計であります。

後期高齢者医療特別会計につきましては、制度改正によるシステム改修経費などにより、725万1千円の増額補正、簡易水道特別会計につきましては、公営企業会計化に向けた固定資産調査経費として、529万2千円の増額補正、下水道事業特別会計につきましては、消費税支払額の確定により、479万6千円の増額補正、介護保険特別会計につきましては、平成29年度決算に基づき、国庫支出金等償還金に3,080万2千円、積立金に3,851万4千円を追加計上するなど、総額7,050万2千円を増額補正しております。

また、水道事業会計につきましては、主要地方道葦崎昇仙峡線の新設歩道への水道管添架詳細設計業務委託経費など、総額430万円を増額補正しております。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記しておりますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

平成30年9月6日

葦崎市長 内藤久夫